

を指導すること。なお、これまでは10日間の避妊が推奨されてきたが、富士フィルム富山化学株式会社の調査により重度の肝機能障害を有する患者では血中からファビピラビルが消失するまでの期間が延長する可能性が明らかになったことから、安全性を考慮し14日へと延長された。

- 7) 本剤は精液中へ移行することから、男性患者に投与する際は、その危険性について十分に説明した上で、投与期間中および投与終了後10日間まで、性交渉を行う場合はきわめて有効な避妊法の実施を徹底（男性は必ずコンドームを着用）するよう指導すること。また、この期間中は妊婦との性交渉を行わないこと。
- 8) 治療開始に先立ち、患者またはその家族などに有効性および危険性（胎児への曝露の危険性を含む）を十分に文書にて説明し、文書での同意を得てから投与を開始すること。妊娠初期においては、妊娠しているにもかかわらず、妊娠検査で陰性を示す場合があることを患者に説明し、同意を得てから投与を開始すること
- 9) 特に生殖可能年齢の男女に対する投与については、適応となる症例を遵守する。
- 10) 投与中は血中尿酸値が正常値上限を越えて増加することが多いが、投与終了と共に正常化することが知られている。
- 11) 本剤投与前に患者の肝機能の状態を把握すること。
- 12) 肝機能障害患者に投与する場合は、投与前にリスクを十分に検討の上、慎重に投与し、投与後は観察を十分に行うこと。

## 【その他の薬剤】（50音順）

- **アドレノメデュリン**（血管拡張性ペプチド）：現在、国内において、医師主導治験が実施されている（jRCT2071200041）。
- **イベルメクチン**（抗寄生虫薬、効能・効果：糞線虫症、疥癬）：現在、国内において、医師主導治験が実施されている（jRCT2031200120）。最新のメタ解析（10のランダム化比較試験を対象）では、イベルメクチンによる治療は標準治療やプラセボと比較して、軽症患者における全死亡、入院期間、ウイルス消失時間を改善させなかったと報告されている。
- **サリルマブ**（遺伝子組み換えヒト化抗IL-6受容体モノクローナル抗体、効能・効果：関節リウマチ）：重症入院患者420人を対象にした国際共同第3相臨床試験では、十分な有効性が示せなかった。REMAP-CAP試験では、サリルマブ治療（400mg単回投与）の標準治療に比した優位性が示されている）。
- **サルグラモスチム**（GM-CSF）：現在、国内において、企業治験が実施されている。（jRCT2031200180）。
- **シクレソニド**（吸入ステロイド薬、効能・効果：気管支喘息）：無症状・軽症患者を対象に特定臨床研究が実施され、シクレソニド投与群41例中16例、対症療法群48例中9例に肺炎の増悪を認めた[リスク比2.08(90%信頼区間1.15～3.75)]。このため、無症状・軽症の患者にはシクレソニドは推奨されない。
- **ナファモスタット**（蛋白質分解酵素阻害薬、効能・効果：急性膵炎）：注射薬においては、現在、国内において、特定臨床研究が実施されている（jRCTs031200026）。なお、吸入薬については開発中止となった。
- **ネルフィナビル**（プロテアーゼ阻害薬、効能・効果：HIV感染症）：現在、国内において、医師主導治験が実施されている（jRCT2071200023）。
- **AT-527**（ポリメラーゼ阻害薬）：現在、国内において、企業治験が実施されている。